総目次

第 I 巻

第3分科報告書発刊に寄せて	ii
研究委員·研究協力者名簿 総目次	iv vii
活動報告	xiii
第1部 1910 年以前の近代日韓関係	1
第1章 日韓間の条約問題	3
日韓間の諸条約の問題―国際法学の観点から(坂元茂樹)	5
乙巳条約・韓国併合条約の有・無効論と歴史認識(鄭昌烈)	
(補論)1900 年代初、韓日間諸条約の不成立再論(李相燦) 批評文(原田環)、執筆者コメント	47
第2章 東アジア国際関係とその近代化	71
東アジアの国際関係とその近代化―朝鮮と越南―(原田環) 批評文(金度亨)、執筆者コメント	73
近代東アジア国際秩序と近代化(張寅性) 批評文(原田環)、執筆者コメント	103
第3章 日清・日露戦争と朝鮮半島	125
露朝関係と日清戦争(佐々木揚) 批評文(金度亨)	127
20 世紀初日本の大陸政策と韓国問題(趙明哲) 批評文(原田環)、執筆者コメント	151

第 Ⅱ 巻

第2部	日本の植民地支配と朝鮮社会
第4章	植民支配の構造と朝鮮人の対応1
,, ,	2統治と朝鮮人の対応(森山茂徳)3 評文(鄭在貞)
)朝鮮強占と韓国の独立運動(徐仲錫)31 評文(森山茂徳)、執筆者コメント
第5章	植民支配と社会変化87
	战争前後の朝鮮における「科学的経営法」の導入(木村健二)89 評文(鄭在貞)、執筆者コメント
	新女性」と「近代」の出会い(井上和枝)109 評文(鄭在貞)
, , .	五大百貨店の隆盛と、それを支えた大衆消費社会の検証
	Eとして昭和初期から同 15 年前後まで─(林廣茂)129 評文(鄭在貞)、執筆者コメント
	2都市イメージと文化現象―1920 年代の京城―(全遇容)207 評文(森山茂徳)、執筆者コメント
第6章	植民支配と経済変化237
	子本主義と植民地経済―貿易面から見た特質(堀和生)239 評文(鄭在貞)、執筆者コメント
	「朝鮮経済の発展と朝鮮人経済(許粹烈)265 評文(森山茂徳)、執筆者コメント

第7章	戦時体制下の総動員	319
一人	成体制期の朝鮮半島に関する一考察 、的動員を中心にして―(木村幹) 評文(鄭在貞)、執筆者コメント	.321
	「朝鮮における国家総力戦体制と朝鮮人の生活 皇国臣民の錬成」を中心に―(鄭在貞) 評文(森山茂徳)、執筆者コメント	.345
第8章	朝鮮駐屯日本軍	385
	E屯日本軍の実像:治安・防衛・帝国(戸部良一) 評文(鄭在貞)、執筆者コメント	.387
	といる。 といるでは、といるでは、といるでは、といるでは、といるでは、といるでは、といるでは、といるでは、といるでは、といるでは、といるでは、といるでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	411

第 Ⅲ 巻

第3部 1945 年以後の日韓関係
第9章 日韓国交正常化
日米韓安保提携の起源―「韓国条項」前史の解釈的再検討―(倉田秀也)
韓日協定と韓日関係の改善の方向(兪炳勇)
第 10 章 日韓経済関係7
戦後日韓経済関係の形成における両国財界人の役割(柳町功)
1950 年代の韓日経済関係 一韓日貿易を中心に―(丁振聲)
第 11 章 日朝関係の諸問題12
戦後日朝関係の展開―解釈的な検討―(小此木政夫)13 批評文(金聖甫)、執筆者コメント
東北アジアにおける脱冷戦の環(リング)、 朝日国交正常化交渉の歴史と限界(都珍淳)
(補論)戦後の東北アジア秩序と朝日関係(金聖甫)18 批評文(小比本政夫)

第4部 研究の成果と相互認識

第 12 章 近代日韓関係研究史	201
日本における近現代日韓関係史研究(永島広紀)	203
近現代韓日関係研究史 一日本人の韓国史研究を中心に(李萬烈)	223
第 13 章 近代日韓間の相互認識	257
「相互認識」 東アジア・イデオロギーと日本のアジア主義(古田博司)	259
開港後近代改革論の動向と日本認識(金度亨)	281